

平成 21 年度研究助成（電気・エネルギー一般研究）募集要項

1. 助成の趣旨

（財）東電記念科学技術研究所は、我が国の産業の発展と国民生活の向上に寄与することを目的として、広義の電気事業に係る基礎的な試験研究への助成、およびこの分野の国際技術交流援助、また、同分野における産業技術を発展させる意欲を持った大学院学生への奨学金給付を行っています。

このうち「電気・エネルギー一般研究に対する助成事業」では、特に電気・エネルギーの産業技術に係わる重要、あるいはおもしろい課題を発掘し、この領域の技術で広く関係者の関心を引き起こすことを狙いとしています。本助成は、小規模な研究活動を対象といたしますので、この範囲で問題が解決できることは少ないかもしれません。しかし、この研究活動によって、電気・エネルギーへの関心が社会的に広く呼び起こされ、引き続き研究開発・産業化の促進に繋がることを期待するものです。

このために、広く公募を行い、厳正な審査・選考を行いますので、若い方々の意欲的な研究計画のお申込をお待ちしております。

— 募集概要 —

助成額	総額 100万円以内/件
助成期間	平成 22 年 4 月から 1~2 年
新規採択件数	7 件程度
予備審査 申込締切日	平成 21 年 6 月 30 日（火）必着 予備審査通過者には費目等を含めた本審査資料を平成 21 年 11 月中旬（予定）に提出していただきます
決定時期	平成 22 年 2 月（予定）
初年度贈呈時期	平成 22 年 4 月予定の贈呈式以降
助成 2 年目以降の贈呈 (研究期間 2 年間の場合)	助成 2 年目以降は、前年度までの研究経過を審査した上で贈呈 (審査結果によっては打ち切ることがあります。)

2. 助成対象分野

- (1) 電気・エネルギー分野において、『技術に係わる新しいアイデア』『エネルギー問題の解決に真剣に取り組もうとするアイデア』などの「萌芽的研究」・「可能性研究」・「実態調査・分析」
- (2) 短期的に問題解決を試みること、長期的な研究に地道に寄与すること、また、工学の枠に入らない社会的・人文的な研究
- (3) 学術研究としての形式を厳格に整えていることを前提とした「基礎研究助成」枠に該当しにくいもの

- (4) 地球規模のエネルギー・環境問題の重要性に鑑み、日本以外で適用した場合に効果が期待できる技術の研究

3. 申込資格

- (1) 大学や研究機関の研究者
- (2) 自らの労力で研究的試みを実践しようとする学生や社会人
- (3) 所属・年齢の制約はありません。
- (4) グループでの応募も可能ですが、分担は明示して下さい。
- (5) 外国からの応募も可。(但し、申込書は日本語で記入して下さい。)

4. 助成対象研究の要件

- (1) 「調査研究」「基礎的実験」「開発試作」「適用調査」以外にも、斬新なアイデア、アプローチの新しさ、おもしろさを評価できること。
- (2) 着想の新しさ、実行意欲（成果を生かす情熱も含む）、社会の潜在的期待への適合を評価できること。
- (3) 研究計画が具体的であること。
- (4) 新しい情報・知見を生むと期待できること。(学術論文にしなくても可)
- (5) 結果は財団に報告し、原則として公表すること。

なお、本助成の趣旨に適合しにくい研究として以下のものが挙げられますので、留意して下さい。

- (1) 重要な技術課題であっても、既に公的な枠組みや大学研究機関のプログラムとして研究されているもの
- (2) 研究資金が潤沢に供給される領域の研究（新しく試みをする意義が明確でないと原則として対象になりません。但し、既存のプログラムに含まれない理由が、科学的・技術的な着眼・視点の違いである場合には対象といたします。)

5. 推薦（予備審査申込書式2頁参照）

予備審査通過後に本審査申込書を提出していただく場合、内容を理解する大学教授級または所属機関長級の研究者などによる推薦が必要です。

※予備審査の段階では、推薦予定者名の記入のみで結構です。

6. 助成内容

本年度の助成金費目は次頁に示すとおりです。助成金は、研究の遂行・成果のとりまとめ、および財団へ研究経過や成果報告、外部への公表に必要な経費とします。(助成金支出計画は、予備審査を通過した方のみ本審査時に提出していただきます。)

また、助成金の授受形式は、受給者の所属機関のルールに拠りますが、各所属機関の規程する共通経費は助成の対象といたしません。

－助成金費目表－

費 目	使 途 説 明
設備備品費	研究に必要な設備・機械・器具・備品を購入する経費。据付費を含む。
消耗品費	研究に必要な試料・部品・文房具等の消耗品を購入する経費。
借料損料	研究に必要な設備・機械・器具・備品の借料および損料。計算機や計算プログラムの借料。
資 料 費	研究に必要な書籍・文献等を購入する経費。
印 刷 費	研究に必要な書類あるいは成果の印刷費、複写費、製本費。
旅 費	研究に必要な学会出席、財団主催の会議への出席・研究者間打合せ等の旅費、宿泊費。(但し、申込者本人に関わるものに限る。)
謝 礼 金	研究への助言・協力や、作業補助に対する謝礼金・品代。(但し、給与としての人件費は認めない。)
そ の 他	会議費、会議参加費、その他上記に属さないもの。(申込者本人分に関わるものに限る。)

7. 申込方法

- (1) 申込書式を財団ホームページからダウンロードし、必要事項を記入、両面印刷・捺印の上、財団事務局まで郵送して下さい。(特に連絡の都合上、所属機関の学科・専攻・部署等は正確に詳細を記入して下さい。)
 - (2) 郵送分とは別に、(1)申込書(Word形式のまま)を、下記アドレスまで送信して下さい。
 - ① 電子ファイル送信先 trfinfo@trf.tgn.ne.jp
 - ② フロッピーディスク等の記憶媒体の郵送は不要です。
- なお、ご提出頂いたものは返却いたしませんので予めご了承下さい。

8. 予備審査申込締切日

平成 21 年 6 月 30 日(火)必着

9. 審査方法と結果通知

審査は、予備審査と本審査の 2 段階で行い、予備審査を合格した方のみ本審査へと進んでいただきます。予備審査結果は、7 月下旬(予定)に申込者本人に通知いたします。予備審査合格通知を受けた方には、改めて本審査申込書をご提出いただきます。(本審査提出期限予定: 平成 21 年 11 月中旬)

いずれの審査においても、審査委員会において厳正かつ公平な審査を行い、その推薦をもとに理事長が決定いたします。

審査は、

- (1) 申込が本要項 1 項の当財団事業の趣旨と合致すること。
- (2) 研究の対象が本要項 2 項の助成対象に含まれ、狙いが魅力的で将来産業技術への発展性が見込まれること。
- (3) 研究題目の設定・研究手法などが独創的・意欲的で、且つ水準が高いこと。
- (4) 研究体制・研究作業計画・予算がねらいに対して適切であること。
- (5) 申込者本人主体の研究で、研究遂行の意欲・能力が十分に認められること。

(6) 研究遂行に必要な資金として、当財団の助成金が真に有意義な役割を果たすものであること。

などの点を考慮し、総合的に評価します。

なお、審査過程や結果に関するお問い合わせには回答できない旨ご了承下さい。

助成は一人一回限りですが、残念ながら採択されなかった場合には、翌年度以降の再応募が可能です。但し、同一の申請内容の場合は、既に審査を経ていますので採択の可能性は低くなります点、ご留意下さい。

10. 受給者の責務

- (1) 審査に合格し助成を受ける場合、受給者は当財団と覚書を締結し、これに基づき研究を実施していただきます。
- (2) 助成金は、申請された研究目的の達成のために最も有効に活用し、支出の記録を残していただきます。また、当財団が必要と認めた場合は、支出記録を提示していただきます。
- (3) 助成期間中は研究進捗状況を確認させていただくため、中間報告書（12月提出）に基づく審査委員会でのヒアリング（1～2月）に出席していただくことや、事務局による研究現場を含む状況調査に協力していただくことがあります。
- (4) 助成期間終了時には、助成研究完了報告書および会計報告書（翌年度4月中旬提出）を提出していただきます。
- (5) 助成内容・報告内容は、当財団の事業報告書・ホームページなどに記載し、広く社会一般に公開いたします。（但し、知的所有権の関係上、公開したくない部分については、申し出に応じて取り扱いを協議します。）
- (6) 助成を受けられた方は、助成期間中および助成終了後も当財団の事業に協力していただくことを期待しています。一部の方には報告会で発表していただくことがあります。
- (7) 研究内容の知的所有権について、当財団は主張いたしません。

11. お問い合わせ・申込書送付先

送付先： 〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-7-1 有楽町電気ビル北館 12 階 財団法人 東電記念科学技術研究所 事務局
電話番号： 03-3201-2659
ファックス番号： 03-3201-8630
Email： trfinfo@trf.tgn.ne.jp
URL： http://www.tgn.or.jp/trf-zaidan

※個人情報の取り扱いについて

応募書類から得た個人情報は、審査および事務局内統計資料作成・応募者本人および推薦者への連絡作業のみに使用いたします。また、本人の同意なく、採択後の情報公開（採択者名・題目・研究概要[本要項 10 (5) 参照]）目的以外に公表することはありません。